

## ●ロシア(極東)

### コロナショックと地域経済

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のロシア初の事例は2020年1月末に確認された。ロシア政府はかなり早い時期から国際移動や国内の諸活動への制限措置を順次導入し、検査体制を拡充していった。しかし、欧州のピークから数週間遅れて、3月末頃から、ロシア国内でも感染者数が増えていった。プーチン大統領は、感染が急拡大の局面に転じるとほぼ同時期の3月25日に、国民(特定の部門を除く)に自宅待機を求める有給の「非労働日」体制の実施を発表した。この全国的な制限措置(3月30日から5月11日までの5週間)は、1日あたりの新規感染者数がピークを迎えるとはほぼ同時期に解除された。それ以降は、全国的な制限措置の実施から各地方政府の権限による制限措置の実施体制に移行した。

ロシアにおけるコロナ感染は夏にかけて収束に向かったが、9月中盤に感染拡大

が再発する局面に転じ、10月初旬には新規感染者数が5月のピーク時を上回った。10月から12月を通して、ほぼ毎日、記録が塗り替えられるように新規感染者数が増加した。2020年末から2021年初にかけては、新規感染者数の伸びは抑制されている。

ロシアにおける2020年1月1日時点のCOVID-19の感染者総数は318万6336人(人口100万人当たり2万1713人)、1日あたりの新規感染者数は2万7039人であり、米国、インド、ブラジルに次ぐ第4位のコロナ感染大国である。このように深刻な感染状況は、ロシアが検査体制の強化に努め、1日あたり44万件(2020年12月30日)という検査数の多さも関係している。現在までの死亡者数は5万7755人(人口100万人当たり392人)、直近の1日あたりの死亡者数は536人、感染者数に対する死亡者の比率(死亡率)は1.8%であった。死亡率自体はそれほど高いものではないが、死亡者のカウント法についての問題や、実際の死亡率や超過死亡率は高

いことが指摘されている。ロシアはワクチンの自国開発を進めており、2020年12月には大規模接種を開始している。

ロシアのCOVID-19の感染状況を地域別(表1)に見ていくと、感染者の4割強は中央連邦管区に集中し、北西連邦管区も感染者数が多い(15.5%)。モスクワ市だけで感染者総数の25.6%を占めており、これにサンクトペテルブルク市の7.7%が続いている。それ以外の地域では、沿ヴォルガ連邦管区の感染者数が比較的多い(全体の11.9%)が、人口100万人当たりの感染者数はロシア平均を下回っており、人口構成比の半分を占める程度である。

死亡者数もまた中央連邦管区に集中している(35.1%)が、人口構成や感染者数の構成と比べると北西連邦管区、とりわけサンクトペテルブルク市がより深刻な状況にある(それぞれ18.6%および13.5%)。ただし、感染者当たりの死亡者数の比率をとった死亡率は、南部連邦管区(2.5%)とシベリア連邦管区(2.5%)において最も高い。

表1 ロシアにおけるCOVID-19の感染状況:2021年1月1日現在

	人口		感染者			死亡者			死亡率 (%)
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人口100 万人当り	人数	構成比 (%)	人口100 万人当り	
ロシア連邦	146,748,590	100.0	3,186,336	100.0	21,713	57,555	100.0	392	1.8
中央連邦管区	39,433,556	26.9	1,321,099	41.5	33,502	20,215	35.1	513	1.5
モスクワ州	7,690,863	5.2	156,898	4.9	20,401	2,914	5.1	230	1.9
モスクワ市	12,678,079	8.6	815,676	25.6	64,338	11,280	19.6	1,467	1.4
北西連邦管区	13,981,992	9.5	493,172	15.5	35,272	10,688	18.6	764	2.2
レニングラード州	1,875,872	1.3	24,056	0.8	12,824	265	0.5	141	1.1
サンクトペテルブルク市	5,398,064	3.7	245,870	7.7	45,548	7,769	13.5	1,439	3.2
南部連邦管区	16,466,084	11.2	193,209	6.1	11,734	4,925	8.6	299	2.5
北カフカス連邦管区	9,930,933	6.8	123,196	3.9	12,405	2,503	4.3	252	2.0
沿ヴォルガ連邦管区	29,287,683	20.0	377,959	11.9	12,905	6,688	11.6	228	1.8
ウラル連邦管区	12,360,752	8.4	203,400	6.4	16,455	3,323	5.8	269	1.6
シベリア連邦管区	17,118,387	11.7	276,006	8.7	16,123	6,910	12.0	404	2.5
極東連邦管区	8,169,203	5.6	198,295	6.2	24,273	2,303	4.0	282	1.2
ブリヤート共和国	985,937	0.7	25,909	0.8	26,279	595	1.0	603	2.3
ザバイカル地方	1,059,700	0.7	27,480	0.9	25,932	386	0.7	364	1.4
サハ共和国	971,996	0.7	26,547	0.8	27,312	394	0.7	405	1.5
カムチャツカ地方	313,016	0.2	10,176	0.3	32,510	82	0.1	262	0.8
沿海地方	1,895,868	1.3	29,522	0.9	15,572	379	0.7	200	1.3
ハバロフスク地方	1,315,643	0.9	35,419	1.1	26,921	204	0.4	155	0.6
アムール州	790,044	0.5	16,004	0.5	20,257	105	0.2	133	0.7
マガダン州	140,149	0.1	7,048	0.2	50,289	65	0.1	464	0.9
サハリン州	488,257	0.3	15,886	0.5	32,536	17	0.0	35	0.1
ユダヤ自治州	158,305	0.1	3,765	0.1	23,783	72	0.1	455	1.9
チュコト自治管区	50,288	0.0	539	0.0	10,718	4	0.0	80	0.7

(出所)人口(2020年1月1日)はロスタット、COVID-19の感染者数および死亡者数はロシア連邦COVID-19情報ポータル(<https://xn--80aesfpebagmfb0c0a.xn--p1ai/>)のデータに基づき作成。

COVID-19の感染状況が地域ごとに異なると同様に、コロナショックの経済への影響も地域ごとに異なる。地域内総生産のような集計的な経済統計が得られないため、失業率(図1)と企業数の純減率(図2:廃業率-開業率)を地域別にみていくと、全国的には、第2四半期から第3四半期にかけて悪化する状況が見取れる。

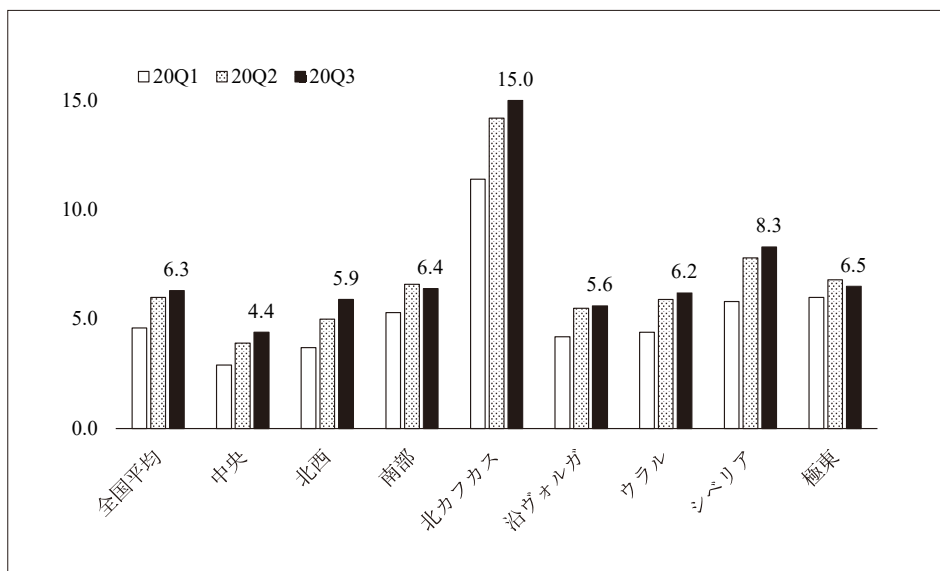
失業率(15歳以上)は2020年の第1四半期に4.6%、第2四半期に6.0%、第3四半期に6.3%と上昇が続き、第3四半期の失業者数は第1四半期から130万人増加

し、477万人となった。失業率の上昇は、コロナの感染状況とは異なり、北カフカスにおいて最も大きく(3.6%ポイント上昇)、それにシベリア連邦管区(2.5%ポイント上昇)が続いている。

一方で、企業の純減率の推移は地域ごとに特徴がある。ロシア全体では、2020年第1四半期の開業率(1000社あたりの開業数)は5.9社、廃業率(1000社あたりの廃業数)は11.1社であり、企業の純減率は5.1社となった。第2四半期は開業率が3.7社、廃業率が9.3社であり、純減率は5.6社であったが、第3四半期にはそ

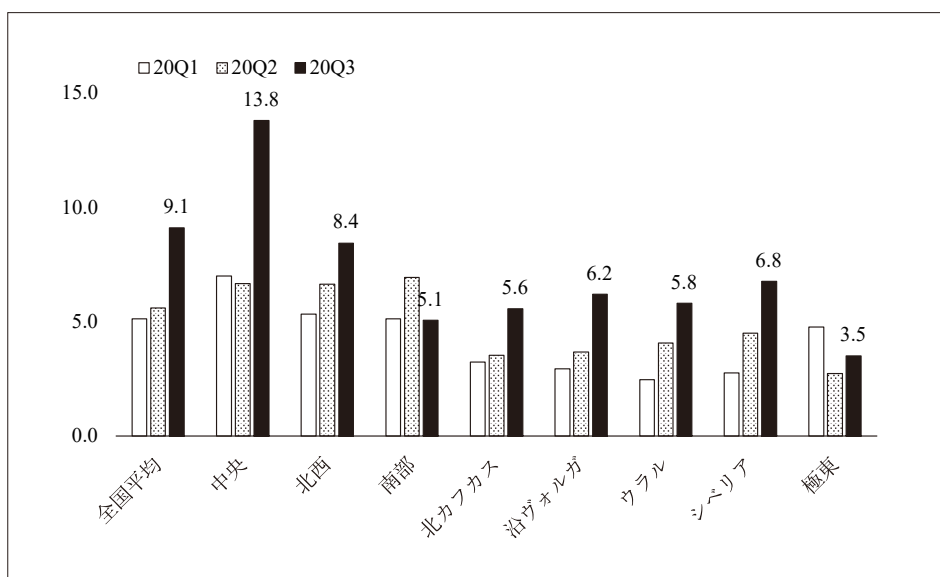
れぞれ5.8社、14.9社、11.1社であり、廃業が急速に増加したため、企業数が大きく減少している。第3四半期における状況の一層の悪化は、非労働日体制の終了、困窮企業への支援策が実施済みとなったことにも関係している。このような状況は、中央連邦管区においてより深刻な形で見られる。中央連邦管区では企業の純減率は、7.0社、6.7社、13.8社と推移した。程度は異なるが、北西連邦管区、シベリア連邦管区、沿ヴォルガ連邦管区でも同様の傾向が見られる。これらの地域ではコロナショックは企業セクターに強く影響し

図1 失業率(%)



出所:ロスタット統計

図2 企業1000社あたり純減率(廃業率-開業率)(社)



出所:ロスタット統計

ている。

極東経済に対するコロナショックの影響は、失業率の面では全国水準とほぼ同じであり、企業数の純減率の面では比較的軽微であったといえる。しかし、コロナショックが発生する以前から、極東地域の1000社あたりの開業数も廃業数も全国よりかなり低いレベルにあったため、コロナショックの影響が小さく見えている点に注意する必要がある。

## 2020年後半のロシア極東経済

コロナショックを受けた2020年1-9月における極東地域の経済状況は、不調が際立った。極東の鉱工業生産の減少は他地域よりも著しく、ロシア全体の2.8%減に対して、4.6%減であった。特に、沿海

地方の鉱工業生産の縮小が著しかった(13.8%減)。沿海地方よりも生産の落ち込みが深刻であった地域は、トゥーバ共和国(38.5%減)、セヴァストポリ市(27.9%減)、コストロマ州(15.1%減)だけであった。

このような極東の鉱工業生産の落ち込みの背景には、製造業の生産の縮小がある。極東連邦管区において前年と比較して特に生産量が大きく減少したのは(1-11月)、貴金属製品(84.1%減)、履物(81.5%減)、植物油脂(37.3%減)、魚の缶詰(27.7%減)、木材(10.0%減)である。沿海地方では、魚の缶詰(30.7%減)、乗用車(25.4%減)、魚の保存食(22.8%減)、木材(19.0%減)の生産量が大きく減少した。

極東における固定資本投資も不振であり、2020年1-9月において前年同期比6.5%減となり、ロシア全体の4.1%減を下回った。特に、サハ共和国(ヤクーチア)、ユダヤ自治州、サハリン州において投資が著しく減少している(それぞれ33.8%減、30.2%減、18.6%減)。サハ共和国(ヤクーチア)とユダヤ自治州は投資の落ち込みが最も著しかった第1位と第3位の地域であった(第2位はトゥーラ州)。

生産や投資の状況とは対照的に、家計に関わる分野に関して、極東の状況はロシア全体と同様に推移している。

ERINA 調査研究部研究主任  
 志田仁完

## 鉱工業生産高増減率(前年同期比%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	1.7	0.2	1.8	3.7	3.5	3.3	3.1	3.1	3.5	2.9	▲1.9	▲2.8	▲3.0
極東連邦管区	6.7	4.4	3.4	3.1	5.4	6.6	3.3	5.5	6.9	2.3	▲1.9	▲4.6	▲4.3
ブリヤート共和国	2.9	0.9	▲11.1	1.3	2.4	11.6	▲1.2	6.1	16.4	11.9	4.5	7.0	7.0
ザバイカル地方	4.6	▲1.2	4.8	3.7	3.8	5.6	▲1.1	2.6	5.2	3.9	1.5	▲1.6	▲2.8
サハ共和国	4.9	5.8	0.8	2.5	7.6	11.3	3.1	9.1	11.8	1.3	▲9.2	▲9.2	▲6.1
カムチャツカ地方	4.4	3.4	10.1	5.7	12.8	▲4.5	2.2	4.1	▲4.1	4.5	10.4	▲8.1	▲7.3
沿海地方	7.1	▲9.5	6.0	18.7	▲3.6	18.2	▲15.4	14.5	19.2	7.9	▲11.2	▲13.8	▲17.3
ハバロフスク地方	2.5	▲0.6	8.4	9.1	0.3	2.5	2.2	3.3	2.7	3.1	4.3	0.4	▲2.0
アムール州	▲1.7	▲9.3	▲4.0	5.3	▲2.4	9.9	▲2.1	▲2.4	0.5	5.8	1.8	▲2.6	▲4.7
マガダン州	9.0	6.4	1.9	7.7	9.6	12.6	22.3	14.6	11.3	0.1	2.3	6.8	7.2
サハリン州	6.1	11.9	5.9	▲0.1	6.4	2.8	6.3	2.8	3.9	1.3	1.2	▲2.8	▲3.4
ユダヤ自治州	13.3	▲18.1	▲0.5	60.4	14.9	2.6	▲6.0	0.7	1.3	5.1	▲1.0	▲1.6	▲2.5
チュコト自治管区	38.5	2.6	▲8.3	▲9.8	0.4	5.8	1.3	4.0	5.3	▲0.2	1.0	▲2.6	▲2.1

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2018年7月26日);ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2020年12月17日)。

(注)2014年以前の地域別・年次データは全ロシア経済活動分類(OKVED)・第1.1版(UISISデータ)、2015年以降の年次データおよび四半期データはOKVED・第2版・2018年基準価格指数(2020年12月17日改訂)である。2015年以降、ブリヤート共和国およびザバイカル地方は極東連邦管区の統計に含まれている。

## 固定資本投資増減率(前年同期比%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	▲1.5	▲10.1	▲0.2	4.8	5.4	2.1	0.5	0.6	0.7	1.2	▲4.0	▲4.1	-
極東連邦管区	▲6.6	▲1.1	▲1.2	10.8	6.2	8.8	▲5.7	▲2.6	0.6	▲9.9	▲8.6	▲6.5	-
ブリヤート共和国	▲15.2	▲9.7	▲15.2	21.0	6.8	43.5	4.5	49.4	21.0	6.3	▲1.5	15.5	-
ザバイカル地方	14.9	3.5	6.5	5.9	▲11.4	▲1.2	▲14.6	▲9.1	▲12.9	31.5	52.9	35.1	-
サハ共和国	▲8.2	▲0.6	29.0	36.0	1.9	0.2	▲11.1	▲20.2	▲10.4	▲43.4	▲39.2	▲33.8	-
カムチャツカ地方	▲30.6	▲19.5	48.5	3.0	▲5.4	9.7	▲6.9	6.0	0.5	1.1	28.5	49.4	-
沿海地方	6.8	▲5.6	▲12.6	▲1.4	3.6	17.2	5.1	▲1.9	▲6.7	21.4	6.6	5.2	-
ハバロフスク地方	▲16.8	▲21.7	▲2.1	▲1.5	13.5	15.2	▲1.8	0.9	3.8	22.8	19.4	24.0	-
アムール州	▲27.6	28.9	15.5	40.9	15.4	26.5	23.9	20.2	24.7	▲10.8	▲1.0	▲5.7	-
マガダン州	0.0	33.1	▲34.3	4.0	27.9	▲33.1	▲52.1	▲52.1	▲51.4	▲16.1	▲10.5	3.0	-
サハリン州	13.7	▲4.4	▲21.4	▲17.1	4.8	1.0	▲15.1	16.6	14.4	9.4	▲18.7	▲18.6	-
ユダヤ自治州	▲29.5	12.9	1.3	▲21.6	43.7	▲13.1	1.5倍	41.1	0.0	▲48.3	▲36.1	▲30.2	-
チュコト自治管区	▲35.9	56.2	▲17.2	▲0.1	35.7	49.1	▲2.7	60.7	38.7	68.0	23.7	29.8	-

(出所)ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2020年12月30日);省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2020年11月26日);『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年4月、7月、10月;2020年4月、7月、10月)』。

(注)2018年の数値は、ブリヤート共和国およびザバイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

## 小売販売額増減率(前年同期比%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	2.7	▲10.0	▲4.8	1.3	2.8	1.9	1.8	1.7	1.4	4.3	▲6.4	▲4.8	▲4.1
極東連邦管区	5.0	▲1.5	▲2.3	2.0	3.3	3.3	2.1	2.2	2.5	2.1	▲6.0	▲5.0	▲3.8
ブリヤート共和国	▲1.8	1.7	▲3.0	▲1.0	0.2	1.0	0.1	0.1	▲0.6	0.0	▲2.7	▲1.1	▲1.7
ザバイカル地方	▲0.4	▲9.1	▲2.6	▲0.3	1.2	0.7	2.0	1.7	1.3	1.3	▲6.2	▲4.8	▲4.2
サハ共和国	8.9	2.1	▲0.6	0.1	5.2	4.6	3.3	3.2	3.8	2.2	▲15.8	▲8.3	▲6.1
カムチャツカ地方	0.2	▲4.7	▲4.3	0.5	3.2	3.4	1.7	2.4	2.4	0.2	▲3.1	▲2.2	▲2.1
沿海地方	7.1	2.5	▲3.3	3.2	5.9	6.3	2.0	2.5	3.9	0.2	▲9.6	▲10.6	▲8.1
ハバロフスク地方	5.1	▲4.7	▲0.3	2.7	2.3	2.3	2.2	2.0	2.0	2.7	▲4.0	▲3.9	▲0.9
アムール州	3.7	▲5.0	▲3.3	2.2	2.8	1.5	2.6	2.7	2.5	1.8	▲2.4	▲1.9	▲0.8
マガダン州	4.6	▲7.8	0.0	0.4	1.5	0.1	3.0	2.3	0.3	0.3	▲5.8	▲6.5	▲5.9
サハリン州	0.7	▲3.9	▲4.2	1.0	2.9	3.8	2.5	3.1	3.9	8.8	0.4	1.1	▲1.0
ユダヤ自治州	▲1.5	▲3.2	▲8.4	▲1.7	4.0	3.8	3.0	2.7	2.4	1.0	▲10.4	▲7.6	▲6.6
チュコト自治管区	▲9.5	5.0	5.1	6.9	1.5	3.0	▲0.1	0.1	0.7	1.1	0.8	1.4	0.7

(出所)ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2020年4月17日);省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2020年12月17日);『ロシアの社会経済情勢(2017年3月、6月、9月;2018年3月、6月、9月;2019年3月、6月、9月;11月;2020年3月、6月、9月、11月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

(注)2018年および2019年1-6月の数値は、ブリヤート共和国および在バイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

## 消費者物価上昇率(前年12月比%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	11.4	12.9	5.4	2.5	4.3	3.0	1.8	2.5	2.3	1.3	2.6	2.9	4.1
極東連邦管区	10.7	12.0	5.4	2.1	3.8	3.9	1.7	2.5	3.1	1.1	2.4	3.1	4.1
ブリヤート共和国	11.8	10.7	4.2	2.1	5.0	4.1	2.2	3.2	3.2	1.7	3.4	4.2	5.1
ザバイカル地方	11.2	14.3	5.0	2.5	4.0	3.8	1.7	2.8	3.0	1.8	3.3	3.6	4.6
サハ共和国	10.3	10.5	6.0	4.4	2.7	4.2	1.6	2.7	3.6	0.4	1.6	2.5	3.2
カムチャツカ地方	7.8	12.6	5.7	2.1	3.4	2.5	1.6	2.0	2.0	0.7	1.7	2.3	2.7
沿海地方	12.0	11.9	4.8	1.8	4.2	3.2	1.4	1.9	2.4	1.0	2.3	3.0	4.1
ハバロフスク地方	11.8	13.1	6.1	2.6	4.0	4.2	2.2	2.8	3.5	1.1	2.4	3.0	4.1
アムール州	10.5	12.8	5.0	1.7	4.6	4.8	1.8	2.7	3.6	1.6	3.2	4.4	5.4
マガダン州	7.8	13.1	3.7	3.1	4.7	2.6	1.1	1.7	1.8	0.9	2.1	3.0	3.4
サハリン州	8.6	10.6	4.8	2.2	2.8	3.5	1.2	1.8	2.2	1.2	2.1	2.8	4.7
ユダヤ自治州	11.8	11.1	6.7	2.5	4.6	4.7	1.7	3.0	4.0	1.6	3.6	4.1	5.1
チュコト自治管区	4.0	11.1	5.9	2.8	4.9	3.8	4.2	3.2	3.3	1.3	1.7	1.5	1.8

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2020年12月8日)に基づき作成。

(注)2019年以降の極東連邦管区の数値は、ブリヤート共和国および在バイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値である。

## 実質貨幣所得増減率(前年同期比%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	▲0.8	▲3.6	▲4.5	▲0.2	1.1	1.7	▲2.0	▲0.4	0.9	0.9	▲3.1	▲3.6	-
極東連邦管区	2.6	▲2.0	▲4.8	▲0.3	3.2	-	▲0.6	1.6	1.0	0.4	▲2.0	▲2.4	-
ブリヤート共和国	1.7	1.1	▲6.0	▲2.1	▲2.2	▲0.8	▲9.7	▲4.5	▲3.0	0.3	▲1.5	▲2.3	-
ザバイカル地方	▲4.6	▲4.8	▲6.7	▲1.1	2.1	1.7	▲2.2	1.9	3.3	0.6	▲1.2	▲0.8	-
サハ共和国	0.8	0.4	▲2.3	▲0.5	2.4	2.4	5.1	3.2	1.7	0.4	▲3.5	▲3.2	-
カムチャツカ地方	2.4	▲2.8	▲5.4	▲0.4	5.1	3.5	0.8	2.6	3.0	1.5	1.4	1.0	-
沿海地方	7.3	▲2.3	▲5.7	▲0.2	3.8	1.8	0.9	4.1	3.1	0.7	▲3.0	▲4.0	-
ハバロフスク地方	▲0.6	▲2.6	▲4.5	▲2.2	1.5	0.8	▲0.7	▲1.6	▲2.4	▲1.0	▲3.4	▲4.5	-
アムール州	1.9	▲3.9	▲7.9	1.1	2.4	1.8	▲1.7	0.8	0.6	1.8	▲0.9	▲1.5	-
マガダン州	▲0.5	▲2.7	▲6.1	2.3	4.4	2.6	▲1.9	4.2	0.0	3.7	0.2	1.2	-
サハリン州	3.3	1.6	▲2.5	▲1.0	4.7	2.2	3.3	6.4	3.8	0.0	0.4	0.4	-
ユダヤ自治州	▲2.3	▲6.4	▲10.8	▲2.8	▲0.4	1.1	▲3.7	0.9	0.2	▲1.1	▲2.3	▲1.7	-
チュコト自治管区	2.6	▲2.8	▲2.6	3.6	4.3	▲0.5	▲2.1	0.0	0.2	3.3	4.4	5.5	-

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2020年12月30日)。月次データは『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年4月、7月、10月;2020年4月、7月、10月)』。

## 平均月額名目賃金(ルーブル)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	19-1-3月	19-1-6月	19-1-9月	20-1-3月	20-1-6月	20-1-9月	20-1-11月
ロシア連邦	32,495	34,030	36,709	39,167	43,724	47,867	43,944	46,210	46,057	48,377	49,600	49,426	49,456
極東連邦管区	40,876	43,164	45,786	48,952	51,667	56,437	51,357	54,274	54,181	56,250	58,335	57,896	58,016
ブリヤート共和国	27,739	28,386	29,969	32,237	36,047	39,115	35,585	37,918	37,495	39,300	41,153	40,176	40,412
ザバイカル地方	29,319	30,931	32,654	34,848	40,740	43,896	39,679	41,869	41,682	42,787	45,102	44,935	44,993
サハ共和国	51,111	54,631	59,000	62,206	68,871	73,402	66,053	71,182	69,722	71,574	74,841	73,133	73,390
カムチャツカ地方	53,167	57,404	61,159	65,807	73,896	80,448	69,156	75,876	77,176	75,195	81,237	81,438	81,373
沿海地方	32,431	33,807	35,677	38,045	42,199	46,867	42,703	44,749	44,759	47,688	48,475	48,389	48,376
ハバロフスク地方	36,781	38,041	40,109	42,465	47,153	50,213	46,695	48,638	49,054	50,374	51,808	51,038	51,325
アムール州	32,397	32,902	33,837	37,368	42,315	47,234	43,367	45,414	45,489	48,511	49,995	50,390	50,547
マガダン州	62,152	65,996	69,769	75,710	85,631	94,856	81,250	89,470	88,442	89,315	96,568	96,163	96,610
サハリン州	54,896	61,311	64,959	68,496	77,499	87,418	82,434	84,166	84,227	89,496	90,907	90,248	90,001
ユダヤ自治州	29,439	30,896	32,165	34,409	39,242	42,400	39,193	41,049	41,132	43,411	45,353	45,529	45,471
チュコト自治管区	76,285	79,531	86,647	91,995	98,864	107,107	100,172	104,954	103,998	109,305	116,485	116,411	116,916

(出所) 年次データはロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2019年6月26日)。月次データは『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年4月、7月、10月、11月;2020年4月、7月、10月、11月)』。

(注) 極東連邦管区の数値は、ブリヤート共和国とザバイカル地方を除く9連邦構成主体の集計値。